

議会だより とくノしま



第187号

平成29年5月1日

発行：徳之島町議会 編集：議会広報編集委員会 〒891-7192 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7203
TEL 0997 (82) 11111 FAX 0997 (82) 1101



2月10日に開催された三カ町議会議員大会（徳之島町生涯学習センター）

第1回定例会

3月7日～16日

- | | |
|----------------------|----|
| ☆ 審議された案件と議決結果、議会の動き | 8 |
| ☆ 一般質問（8氏登壇） | 9 |
| ☆ 研修レポート・編集後記 | 16 |

3 月定例会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
(議案)	
・専決処分（一般会計補正予算第 7 号）	承 認
・「みらい創りラボ」井之川条例の制定	原 案 可 決
・徳之島町用水地区基幹水利施設等管理条例の制定	原 案 可 決
・徳之島町特定個人情報保護条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
・徳之島町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
・特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
・徳之島町教育委員会教育長の給与及び勤務時間の特例に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
・徳之島町報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
・徳之島町税条例等の一部を改正する条例	原 案 可 決
・徳之島町行政財産の使用料徴収に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
・徳之島町特別会計条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
・徳之島町介護保険条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
・徳之島町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
・徳之島町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定 地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
・総合整備計画の一部変更	可 決
・過疎地域自立促進市町村計画の一部変更	可 決
・徳之島町町道の認定	可 決
・徳之島町町道の延長幅員の変更	可 決
・職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
・平成 28 年度一般会計補正予算（第 8 号）	原 案 可 決
・平成 28 年度簡易水道事業特別会計補正予算（第 4 号）	原 案 可 決
・平成 28 年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第 5 号）	原 案 可 決
・平成 28 年度農業集落排水特別会計補正予算（第 4 号）	原 案 可 決
・平成 28 年度介護保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	原 案 可 決
・平成 28 年度公共下水道事業特別会計補正予算（第 5 号）	原 案 可 決
・平成 28 年度後期高齢者医療特別会計補正予算（3 号）	原 案 可 決
・平成 28 年度水道事業会計補正予算（第 4 号）	原 案 可 決
・平成 29 年度一般会計歳入歳出予算	原 案 可 決
・平成 29 年度簡易水道事業特別会計歳入歳出予算	原 案 可 決
・平成 29 年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算	原 案 可 決
・平成 29 年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出予算	原 案 可 決
・平成 29 年度介護保険事業特別会計歳入歳出予算	原 案 可 決
・平成 29 年度公共下水道事業特別会計歳入歳出予算	原 案 可 決
・平成 29 年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算	原 案 可 決
・平成 29 年度水道事業会計歳入歳出予算	原 案 可 決
(諮問)	
・人権擁護委員候補者の推薦（池本 光子 氏）	適 任
(発議)	
・議員派遣の件	原 案 可 決

いっばん質問

3月定例会には、8人の議員が登壇し、地方創生、文化伝承、福祉政策、ふるさと納税、補助金、観光振興、スポーツ振興、畜産振興など町政全般にわたり執行部の考えをたきました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。



徳之島には多くの希少野生動植物がいる(徳之島固有種のタニムラアオイ)



徳田 進 議員

世界遺産への

取り組みは

問

奄美群島一丸となり世界自然遺産登録に向けて取り組んでいるが、他の島々にない徳之島の魅力は何か。
また、今後の観光客の受け入れ体制は。

答 住田企画課長
徳之島の魅力は世界自然遺産以外にも長寿や子宝・約400年続く闘牛・島の豊かな食と文化などがある。

長寿・子宝・闘牛など

おもてなしで観光客の増加を

答 幸田地域営業課長
徳之島の自然や文化遺産を伝える知識を持ったツアーガイドの育成が重要だ。安心安全な観光地を巡り島民とのふれあいと、おもてなしの島料理。また、観光客の増加を見込み宿泊施設の普及にも努めたい。



徳之島町マスコットキャラクター「まぶーる君」

問 地方創生事業の中の雇用創出補助金を活用した就労実績と、今後の課題について伺う。

雇用創出事業の実績は

3事業計15人の雇用

答 住田企画課長
平成27年度に地方創生先行型事業で9事業を実施し、3事業計15人の雇用実績となっている。

地域資源を生かした新たな商品・サービスを生むノウハウを島に根付かせるための人材育成が必要。

人口流出の歯止め策は

問 人口流出の歯止め策など活性化に向けた政策は。

今後自然遺産登録となった場合、風光明媚な地に居住を希望する方々への住宅等の供給は可能か。

東天城地区は、大きなチャンス到来

答 高岡町長
世界自然遺産登録となれば、東天城地区は特に期待するものがある。花徳支所では農業民泊等の事業に取り組みたい。また、山、金見、手々地区でも※トレイルを設定し歩きながらの観光を提案していきたい。

※トレイルとは森林や里山、海岸集落などを歩くための道のこと

集落の魅力を再発見

答 瀬川花徳支所長
北部集落の自然・文化・歴史などの魅力を再発見し、観光振興だけではなく新しいアイデア振興策が生まれ人の流れに繋がっていかねばと考える。また継続して集落検討会や北部創生推進委員会を開催する。

島口議会の継続を

富田 良一 議員



問

島口・島唄大会での島口議会は、議会の重要な事項を住民に理解してもらう、また、島の文化を守る場としては、とても良い取り組みだと思うが、今後も継続してはどうか。

島口議会は

拡充すべき

答

高岡町長
今回開催された島口議会は、大変好評だった。島口は娯楽ではなく文化でありさらに工夫を凝らし、拡充していきたい。今後も議会の協力のもと継続したい。



好評だった島口議会（生涯学習センター）

受診率向上で健康増進

宮之原 順子 議員



問

町民の健康増進対策として健診の受診率向上のために、地域ごとに健診の必要性の説明会を実施しては。また、健康サポートや推進員を決め、地域で主体的に取り組める体制も必要ではないか。

特定健診はかないお得！！

一般的な検査料金 約7000～8000円	➔	徳之島町の特定健診 500円
-------------------------	---	-------------------

毎年受けることで、少しずつ悪化している項目がみえてきます。
元気なときこそ、生活習慣を見直すチャンス！

昨年配布された啓発チラシの一部

問

芝健康増進課長
とても良い提案なのでなるべく取り入れたい。来年度は、2カ月に1回のウォーキング大会を開催。町民に健康意識・運動意欲を持っていただき自主的に取り組める環境づくりに特定健診の受診率向上につなげたい。

健康意識を高めて

男女共同参画の推進を

問

施政方針に女性職員が働きやすい環境を整えることを目標とある。男女共同参画基本計画が策定され平成29年度は折り返し地点の5年目を迎えるが、進捗状況と今後の推進予定を伺う。

関係課連携して取り組む

答

住田企画課長
徳之島町女性職員の管理職登用は、年々改善し

ているが、各種審議会・委員会等への登用は、計画策定時とほぼ変わらない。
今後関係各課による推進会議を開催し、取り組んでいく。

アンダーパスで輪禍防げ

答

自然遺産登録に向けノネコ対策が進み、クロウサギも徐々に増えて輪禍事故が多発している。ふるさと納税寄附金を活用して道路の下に動物用のトンネル「アンダーパス」や三京のトンネル付近にある振動で動物に危険を知らせる「ゼブラゾーン」を設置できないか。

国・県の財源も検討

答

住田企画課長
ふるさと納税を活用した交通事故防止対策として、平成29年度は英語表記の看板設置を検討している。アンダーパス等の設置は、国・県の財源が活用できないかを含めて検討したい。



ふるさと納税返礼品の品々



木原 良治 議員

ふるさと納税の 実績と活用は

問 「ふるさとを応援したい」と、「徳之島に貢献したい」と、出身者や出身ではないが島を思う方々から多くの寄附をいただいている。その「ふるさと思いやり基金」をどう活用しているのか。

答 深川社会教育課長
施設の規模は、縦横30×45m。トレーニングルーム併設で、雨天時に地元の各種競

健康の森総合 運動公園区域内に

問 大学、企業、プロ選手等の合宿、団体数の増加には屋内運動場が不可欠である。その整備計画と地元での活用方法は。

全天候型屋内運動場の整備計画は

答 住田企画課長
平成28年度は全国各地の6228人の方から、1億1346万6001円という大変多くの寄附をいただいている。活用事業は、基金活用推進協議会を開催して、活用要望のあった事業について協議・決定している。

活用推進協議会で協議

技の練習・大会もできるようにしたい。グラウンドゴルフ・ゲートボール・テニス・レクリエーション等も考えている。

アマミシマアザミ 加工施設の整備計画は

問 新たな地域資源の発掘として、産・官・学体制によるアマミシマアザミの効用の実証と商品開発、一次加工施設の内容を問う。

高付加価値商品の販売へ

答 東農林水産課長
NPO法人奄美機能性食品開発研究会と琉球大学・本町で産・学・官連携した共同研究を実施。アマミシマアザミの高付加価値商品の開発・販売確立に向けた原料の確保と一次加工施設を整備する。

議会の動き

1月	5日 徳之島町消防団出初め式	7日 公明党奄美ティダ委員会新春政経会及び懇話会(奄美市)	13日 第3回議会だより編集委員会	17日 議長・局長合同会及び正副議長研修会(奄美市)	18日 新・元議員研修会(奄美市)	20日 三カ町議会議員連絡協議会役員会	22日 新春書き初め展覧会および授賞式	28日 赤土新ばれいしょ「春一番」出発式(天城町)	31日 議員研修会(鹿児島市)	2月	1日 三カ町議会議員連絡協議会役員視察研修(屋久島)	4日 天城町総合防災センター落成記念式典・祝賀会(天城町)	10日 徳之島三カ町議会議員大会・研修会	17日 「西郷どん」ロケ誘致等要望(東京都)	19日 とくの島観光・物産フェアin東京(東京都)	21日 第68回町村議会議長定期総会(鹿児島市)	28日 市町村長・議会議長合同会(奄美市)	3月	2日 議会運営委員会	6日 劇団四季こころの劇場公演及び交歓会	7日 第1回定例会開会	14日 各中学校卒業式	16日 第1回定例会閉会	23日 各小学校卒業式	25日 自衛隊ヘリ墜落現場及び慰霊碑周辺清掃作業	27日 第1回議会だより編集委員会
----	----------------	-------------------------------	-------------------	----------------------------	-------------------	---------------------	---------------------	---------------------------	-----------------	----	----------------------------	-------------------------------	----------------------	------------------------	---------------------------	--------------------------	-----------------------	----	------------	----------------------	-------------	-------------	--------------	-------------	--------------------------	-------------------

補助金増額で 経済効果を

幸 千恵子 議員



問 住宅リフォーム助成制度の活用状況と効果は。この制度は、町内業者の仕事も増え経済波及効果が大きく、大変喜ばれることが奄美市の状況からもわかる。希望する町民みんなが利用できるように予算の増額を求める。

財政当局と検討

答 亀澤建設課長
「町民みんなが利用できるように予算の増額を求める。」については、財政当局と経済効果等考慮し検討したい。

防災対策は どうなっている

問 学校施設の耐震化工事の状況は。役場庁舎の耐震性と今後の計画は。町内の全ての橋の管理状況と河川内の土砂撤去の計画は。防災行政無線の戸別受信機未設置対応と故障しているスピーカーの修理は。

庁舎建設を 念頭に置く

答 岡元総務課長
旧庁舎は、震度5程度の地震に耐え、増築した海側の新庁舎は、震度6〜7でも耐えうるレベルの建築物である。今後は、立て替えを基本に基金を積み立

てながら、耐震補強も視野に入れていく。防災行政無線は、空き家にある受信機を再利用し、要望のある世帯に順次設置していく。

学校施設の 改修終了

答 向井学校教育課長
学校施設の耐震化は、全ての学校施設の耐震診断を行い、診断の結果改修が必要となった施設について

点検後改修計画 を策定

答 亀澤建設課長
現在点検中で、平成30年度までに全橋の点検を行い、その結果に基づき改修計画を策定していきたい。
河川の土砂撤去は、毎年順次行う予定。



土砂の堆積した河川（母間地区）

ふるさと納税を 「子育て支援」に

問 多くの方のご厚意で「ふるさと納税」を子どもたちの保育料・給食費に当て、「子育て支援」に活用することを提案する。子育て中のお母さん方から「夫婦共働きでも生活は大変だ」との声がある。

ふるさと納税は、 他の用途で使うべき

答 高岡町長
子育て支援は、ゼロ歳児から高校生までと考える。子どもたちが、島外に出たときにカルチャーシヨック等がないよう教育環境を整えたい。ふるさと納税は、教育、福祉、環境を中心に考え、保育料、給食費等は、行うとしたら一般会計から出すべきと考える。

活用推進協議会 で協議

答 住田企画課長
ふるさと思いやり基金活用推進協議会で、各課から要望のあった事業に対して協議し事業を決めている。条例に規定する7つの使い道の内容であれば、各課からの要望により協議は可能だと考える。

その他の質問

○子どもを取り巻く環境について
○防災対策について
○障がいのある人たちの状況について



徳之島町マスコットキャラクター「まぶーる君」

なぜできぬ医療費無料

勇元 勝雄 議員



問

県下43市町村で乳幼児医療費を無料にしているのは35市町村。減額で補助している市町村もある。最低限未就学児は医療費を無料化すべきと思うがどうか。

答

高岡町長

乳幼児医療費は、生活保護世帯、非課税世帯は無料。完全無料化は所得が高い人が有利となる。「コメがほしい人には、コメを与えるのではなく、コメの育て方を教える」という理念で子育てを支援していきたい。

コメの育て方を教える



子育てに忙しいお母さん

集落に観光地の管理を

問

金見のソテツトンネルは集落住民の犠牲の上に成り立っている。各観光地を地域振興・活性化・利益還元のために希望する集落に管理を任せることはできないか何う。

集落を交え対応

答

幸田地域営業課長

現在は土地所有者の協力により随時清掃を行っている。世界自然遺産登録で増加する観光客により環境が悪化し、ソテツに悪影響が出ることも懸念され、保護対策を考慮する。今後は観光地整備を集落を交え対応していく。

避難道路の整備を

問

亀徳集落から阿田野平住宅までの避難道路となっている県道の崖を切り取り整備することはできないか。

現況を維持

答

亀澤建設課長

県において点検を行っているが、斜面の状況及びモルタル吹き付けのクラックについて、進展の監視を行っており現時点では変化は見られない。

※クラックとは裂け目及び割れのこと

その他の質問

- 公共施設、用地の維持管理について
- 地域おこし協力隊について
- 入札について

議会に対する質問や意見、または議会だよりに対する意見や希望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。

徳之島町議会事務局

☎ 82-1111 (内線 331 番)

地域振興と人材育成を

是枝 孝太郎 議員



問

徳之島町の地域おこし協力隊を地域振興と人材育成のため今後どのように進めていこうと考えているか何う。

協力隊制度は重要

答

住田企画課長

地域おこし協力隊制度は重要であり、平成29年度は新たに重要5分野での活用を検討している。最終的な定定着が目標であることから、採用に当たっては慎重な審査が必要だと考える。

スポーツ振興を

問

徳之島町の小中学校並びに高校生のスポーツに携わる児童生徒の健康管理と身体の発達に伴う体のケアは重要である。今後メデイカルサポート等の活動を行っている団体に行政の支援はできないか何う。

※メデイカルサポートとは医療的な支援をすること

スポーツ少年団で利用

答

深川社会教育課長

平成27年度より野球の卒業大会において5、6年生を対象に野球肘健診を実施。平成28年度はメデイカルサポートチームが協賛金を募り野球肘健診を実施している。



けが防止のためのメディカルサポート研修

部活動へのサポート

答 向井学校教育課長

部活動で運動を行う際は、体のケアが非常に重要だ。本町にはメディカルサポートチームがあり、以前中学校の家庭教育学級でそのサポートを受けたと聞いている。学校教育でできる支援と活用を図っていききたい。

生涯健康という

観点から

答 芝健康増進課長

徳之島の子どもたちは、身体能力が高いと言われながらもストレッチ不足やオーバーワークだけが、選手生命を絶たれている生徒も少なくない。けがを防止して生涯健康という観点からも協力・支援していきたい。

効果的な負担金を

問 奄美群島広域事務組合のいままでの活動報告と今後の活動内容について伺う。

また、公平な負担金となるよう徳之島に効果的な事業展開ができないか。

どこもやってない政策が必要

答 高岡町長

事業は、人件費が主な支出となる。大島本島ではLCCなどの直行便就航により観光客が増加しているが、南三島、喜界島はまだその相乗効果が出ていない。さらなる努力と危機感を持って対応し知恵を出すことが重要と考える。

積極的な事業反映を

答 住田企画課長

奄美群島成長戦略ビジョンにおいて奄美群島の自立に向けた各種ソフト事業を実施し、群島の振興を

次回の定例会は 6 月です

みんなで議会議を傍聴してみませんか。手続きは簡単で、傍聴席入口の受付名簿に住所、氏名を記入していただくだけです。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。
☎ 8 2 - 1 1 1 1 (内線 331 番)

図っている。本町の考える地域振興事業の積極的な戦略ビジョンへの反映が必要だと考える

保育環境改善・

待機児童解消は

松田 太志 議員



問 全国的にも問題となっている待機児童。

町としての今後の計画・方向性と「子育て世代包括支援センター」について伺う。



2月4日開催された子育て支援員研修会

平成32年度末までに整備

答 豊島介護福祉課長
公立（へき地）保育園は定員に対して空きがある。今後、保育時間延長などの協議・検討をし、預けやすい保育環境づくりを行いたい。*子育て世代包括支援センターは専門職員の配置等検討し、平成32年度末までに整備していき

たい。

※子育て世代包括支援センターとは保健師や助産師、ソーシャルワーカー等を配置し、幅広い相談が出来る施設のこと

小規模畜産農家の育成を

問 町が進める受精卵事業、小規模畜産農家の育成、所得向上のためどのような方向性で畜産振興を考えているのか伺う。

1頭10万円の助成

答 東農林水産課長
受精卵事業は、小規模農家を中心に今後も引き続き実施していく。

また、50頭以下の小規模農家には、導人及び自家保留牛1頭につき10万円の助成を、年間1農家2頭までを上限として行い農家負担の軽減を図っている。

定例会の様子をインターネットでご覧いただけます

町のホームページから「議会中継」にアクセスしてください。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。
☎ 82-1111（内線331番）

三カ町議会議員大会及び研修会

徳之島三カ町議会議員

大会及び研修会が2月10

日、徳之島町生涯学習センターで開催されました。三町の議会議員、三町長、禧久伸一郎県議

林健二県議が出席し、会長あいさつ、来賓祝辞、

国政報告（メッセージ朗読）、県政報告がありま

した。また、伊仙町から提出された議題が採択さ

れました。

その後、県町村議会議

長会の中村逸朗氏による

「これまでの議会、これからの議会」と題して研

修が行われました。

徳之島三カ町の提出議

題は、次のとおりです。

■提出議題

主要地方道（伊仙く天

城線・伊仙く亀津く徳之

島空港線・花徳く浅間線・

松原く轟木線）道路改良

事業について



三カ町議員大会（徳之島町生涯学習センター）

主要地方道（伊仙く天

城線・伊仙く亀津く徳之

島空港線・花徳く浅間線・

松原く轟木線）は徳之島

を一周する重要な基幹道

路であります。

これまでの道路改良工

事により通行の利便性が

格段に向上し、徳之島の

振興に大きく寄与してい

るところであります。

しかし、一部に未整備

区間が散在しており、幅

員が狭く急勾配や急カー

ブ等、車両が離合するの

に危険な箇所が数多くあ

り大型車両の通行に支

障を来しており、死亡事

故も発生していることか

ら未整備区間の道路改良

工事を急ぐ必要があります。

学校周辺の未整備区間

につきましても、特に雨

天時の通学については保

護者や学校関係者も非常

に心配しており、不安に

感じている現状です。

通学する子ども達も

とより、住民と車両の通

行安全性確保の観点や今

後、世界自然遺産登録を

見据え、観光客増加によ

る更なる交通量の増加

が見込まれる事をふまえ

て、伊仙町の「佐弁く目

手久地区」「検福く伊仙

町役場前地区」「犬田布

く糸木名地区」の3地区、

天城町の「西阿木名地区」

「平土野く兼久地区」「与

名間地区」の3地区、徳

之島町の「轟木地区」「山

く畦地区」「花徳三叉路

地区」の3地区、以上、

9地区について、地元と

いたしましても最大限の

協力をいたしますので、

関係機関一体となつてこ

の区間の道路改良事業を

早急に実施していただき

ますよう強く要望いたし

議員研修レポート

1月31日に鹿児島市で議会議員研修会が行われました。その内容を各
常任委員がレポートします。

「これからの防災・危機管理」～個人の備えと組織の対応～

講師 防災システム研究所 所長 山村 武彦氏
経済建設委員 鶴野 将光

山村氏はまず、これまでの防災訓練計画は防災ごっこになってはないかと指摘。防災訓練といえ
ば消火訓練、避難訓練、安否確認訓練、救出救護
訓練、炊き出し訓練、避難所運営訓練などが定番
であり、それぞれが極めて重要で欠かせない訓練
ではある。
しかし、よく考えてみると、それらの多くは災
害後対処訓練でしかないとしている。そして、こ
れまでの防災訓練から



で悩まず近くの人に相談
すること。同じ時代を生
きる者同士どこかで迷惑
を掛け合い、支え合いな
がら生きる、これが「お
互い様」である。
家庭・地域・職場の向
こう三軒両隣で助け合う
「近助(所)」と「防災隣
組」で普段からほどよい
距離感で隣人に関心を持
ち、困っているな、変だ
など感じたらいつでも近
くにいる人が声を掛け、
助け合う。傍観者になら
ない心「近助(所)の精神」
を持つことでこれからも
ずっと住みたい安全・安
心のまちになると締めく
くった。

「不良長寿のすすめ」*

講師 順天堂大学名誉教授 奥村 康氏

総務文教厚生委員 富田 良一

「不老長寿」

東洋人(日本、韓国、
中国)にしかない言葉で
ある。(アメリカ、ヨー
ロッパにはない)
海外では、不老のこと
をアンチエイジングと
言っている。年に逆らっ
て若くなること、または
「若返りの医学」とも言
う。

「21世紀の医学」

●再生医療・・・欠
けたところを元に
戻す
●心の医学・・・心
の動きと体への影
響、性格と寿命

響、性格と寿命

不良長寿について90
分、始めから最後まで
笑いが尽きない講演でし
たが、資料もなく世間話
や疑わしい話も多くてお
伝えできないのが残念で
す。ただ、最後に言える
のは、90歳～100歳
以上の方々は、ナチュラ
ルキラー(NK)細胞の
数値が高く、このナチュ
ラルキラー細胞を強くす
ることが長命のコツだ
そうです。NKを上げる
方法として大声で笑うこ
と・・・これが長命の秘
訣であることでした。
今思うと奥村氏は、講
演をとおして視聴者のNK
を上げていたんだなあ
〜と感じました。
皆さん・・・大声で
笑って健康増進
(注意)深夜、または一
人でいるときはやめた
方がいいと思います。
*講演のテーマは「不良」
の字を使用していました。



第 50 回戦艦大和戦没者
慰霊祭に向けての清掃作業



平成 29 年 4 月 4 日、犬田布岬で徳之島三か町議会議員連絡協議会による、第 1 回奉仕作業が行われました。

議会活動スナップ



みらい創りラボ（井之川）



現地調査の様子

永年勤続表彰



15 年表彰を受けた保岡議員と是枝議員（左から）



平成 29 年度当初予算審査の様子

編集後記

3 月には進学や就職、転勤などで多くの人達が島を後にした。4 月、島も新たな人達を迎えて新年度をスタートさせている。

今期のサトウキビやバレイシヨの収穫は気象条件にも恵まれて久しぶりに活気づいている。子牛価格も高値を維持しており、基幹産業の農業が島を元気にしている。

今、島に追い風が吹いている。

3 月 7 日奄美群島国立公園が指定され、来年の秋頃には、世界自然遺産登録も予定されている。このビッグチャンスを活かしたい。島固有の希少動植物の保護は最重要課題であり、環境保全に対する島民の意識とマナーの向上が欠かせない。

島を後にした人達に、世界自然遺産登録をとどけたい。

文責 木原 良治